

岡山ESDプロジェクト

自治体情報 岡山県岡山市

人口 / 689,538人 標準財政規模 / 162,139百万円

- 担当課** 環境保全課
- 電話番号** 直通 086-803-1284
- 実施主体** 岡山市 (岡山ESD推進協議会)
- 関連ホームページ** <http://www.city.okayama.jp/kankyou/kankyouhozen/esd.html>
- 事業期間** 平成17年度から平成27年度まで
- 関係施策分類** ①、⑦-ウ

予算関連データ

総事業費：6,400千円 (H22)

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	6,400

施策のポイント

国連「持続可能な開発のための教育（ESD）の10年」に賛同して、国連大学や海外とも連携しながら進めている施策で、環境や貧困、エネルギーなどさまざまな課題を解決し持続可能な社会を築ける人を育てている。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

2002年のヨハネスブルグサミットに参加した岡山市民らの呼びかけで、2005年から始まった国連「ESDの10年」に呼応して、岡山市域で岡山市を事務局として、市民協働によりESDを推進する「岡山ESDプロジェクト」が始まった。

2. 取組の具体的内容

- ①ネットワークづくり：活動発表交流会など、さまざまな人が出会い、情報交換する場をつくる。
- ②活動支援：財政基盤の弱い団体に対して、ESD活動費の一部助成を行う。
- ③広報啓発：広く一般市民にESDへの理解と協力を図る。
- ④連携協力：国連大学等を通して、国内外のESD推進地域と交流、連携、協力する。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ・個別に活動している組織や団体が協力しあうことにより、より広く市民に理解と協力の輪が広がる。
- ・数値目標：岡山市民の5%が持続可能な社会づくり活動に参加する。

4. 現在までの実績・成果

- ①参加組織は平成17年度の44団体から100団体に
- ②何らかのESD活動が行われている小学校区は91学区中55学区に増加
- ③連携・協力の機運の盛り上がり
- ④「岡山ESDプロジェクト～地域内の多様な連携による持続可能な社会づくり」が、第13回日本計画行政学会計画賞優秀賞受賞（平成21年2月）
- ⑤愛知県・名古屋市とともに2014年開催予定の国連ESDの10年最終年会合の開催地に決定（平成23年9月）

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

- ①ESDが一般に知られていなかったため、幅広い参加を得るため、最初は従来の「環境教育」と「国際理解教育」に関する活動を行っている人たちをつなぐ形で始め、次第に既存の教育活動にESDの視点を入れることを目指した。
- ②ESDに対する考え方が市民の間にも確定していなかったプロジェクト開始当初は、岡山ESDプロジェクトの基本方針を示す「岡山ESDプロジェクト基本構想」を敢えて（案）のままにしておくことで、多様な意見や立場の人をとりこんでおき、その後プロジェクトの進行状況を見ながら4年目に、実態に応じた形に改定した。

6. 今後の展開と課題

5年目に「岡山ESDプロジェクトの今後を考える会」を開催し、それぞれの組織や団体のESD推進状況、成果と課題を共有した。今後はそれを踏まえて、持続可能な社会づくりのビジョンとそれに向けての方策をとりまとめ、実行に移していく。

併せて、2014年の国連ESDの10年最終年会合の成功に向けた取組を推進する。